

令和5年度 第4回

海老名市総合教育会議

令和6年3月16日（土）
県立有馬高校 会議室

第1部 協議事項

- ◆教育大綱の取組について
新たな部活動の在り方の検討
- ◆「第4期えびなっこしあわせプラン」
の策定について
- ◆令和6年度教育委員会予算について

第2部 学校発表など

- ◆ 学校紹介・発表 有馬高校
- ◆ 有馬高校生徒と市長・教育委員
との懇談

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

協議事項 1 Pick up

新たな学校の枠組みづくり の推進

- 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討
- 学校のDX化の促進
- 「幼保小の架け橋プログラム」の導入
- 新たな部活動の在り方の検討

教育施策の5つの柱

わたしたちは
「ひびきあう教育」
の理念のもとに

「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- 特色ある学校づくりの推進

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

- インクルーシブ教育の推進
- 不登校支援体制の充実
- スクールライフサポートの充実
- ライフ・スタディサポートの推進

- 子どもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせ」のために

「誰ひとり取り残さない教育」

をめざします

子どもと大人がともに学ぶ機会の充実

- 子ども・学校支援事業の実践
- 若者の活躍と市民活動への参加促進
- 社会教育計画の再構築
- 特色ある図書館運営の推進
- 文化財の保護と積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 積極的な学校再編計画の推進
- 健康・安全安心のための環境整備
- 魅力ある学校給食の実現
- 保護者負担経費軽減策の充実
- 放課後児童クラブの充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集

教育大綱の取組について 新たな部活動の在り方の検討

1. 海老名市部活動の現状と課題
2. 新たな部活動の在り方に関する方針について

1, 海老名市部活動の現状と課題

海老名市部活動方針（H30.1）

【海老名市部活動のねらい】（H30.1 海老名市部活動方針）

部活動は、生徒ひとりひとりの自主的、自発的な参加により教育課程によらないスポーツ・文化・科学等の教育活動として、次のねらいを達成するために行うものである。

- ◇ 自分の目標や課題に向かって粘り強く努力し、それを克服して達成感や成就感を味わう中で、自主的に自分自身を高めよりよくしようとする力を育てる。
- ◇ 同じ目標に向かって、仲間とともにお互いに競い、励まし、支えあって活動する中で、つながりを広げ、絆を深めることの喜びを味わい、多くの人と進んでかわり自分を発揮する力を育てる。
- ◇ 生涯にわたって、心と体の健康に関心をもち、主体的にさまざまな活動に取り組み、自分や自分たちの生活をより楽しく豊かなものにしようとする力を育てる。

1, 海老名市部活動の現状と課題

今年度の状況について

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
部活動総数	99	100	99	99	99
生徒数	3,491	3,451	3,423	3,378	3,368
入部生徒数	2,856	2,828	2,855	2,778	2,747

顧問の教員数158人（運動部活動106人、文化部活動52人）令和5年6月時点

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の
在り方等に関する総合的なガイドライン
（R4.12スポーツ庁・文化庁）

1, 海老名市部活動の現状と課題

新たな部活動の在り方検討委員会

検討委員の構成

スポーツ協会、小・中学校校長、中学校教頭代表、中学校教務代表
運動部代表顧問、文化部代表顧問、小・学校保護者、文化スポーツ課

検討委員会活動内容

- ・今年度、検討委員会を全7回実施
- ・児童・生徒・保護者の意見を知るために、アンケートを実施

生徒みんなが楽しめる環境

様々な人との出会い

教職員の負担軽減

生徒の自主的・主体的活動

1, 海老名市部活動の現状と課題

海老名市における新たな部活動
の在り方に関する方針（R6.2）

2. 新たな部活動の在り方に関する方針

「新たな部活動」のめざす姿

- 「海老名市部活動のねらい」達成のため、学校・地域・保護者が協働し、生徒の充実した活動を保障する。
- これまでの、「学校単位の部活動」から「市全体の部活動」という考え方に移行することで、生徒の継続的かつ発展的な活動の保障、多様化する興味関心への対応、教員の働き方改革を進める。
- これからの時代を生き抜く子どもたちには可能な限り多くの大人が関わり、人格形成の幅を広げることが望ましいという観点から、教員のみならず地域の人材やスポーツ・文化芸術関係者等、多くの指導者・支援者が部活動に関わり支えていく体制を構築する。

2. 新たな部活動の在り方に関する方針

7つの項目について

- ①持続可能で発展的な「えびな型地域部活動」の形づくり
- ②部活動数維持のための環境整備
- ③合同練習・合同活動の推進
- ④柔軟な部活動形態の導入
- ⑤部活動における公共施設利用の促進
- ⑥細やかで丁寧な対応を基本とした部活動改革
- ⑦管理運営組織の段階的立ち上げ

2. 新たな部活動の在り方に関する方針

7つの項目について

①持続可能で発展的な「えびな型地域部活動」の形づくり
地域移行を最終目標としながら、地域連携から取り組み段階的に進める

②部活動数維持のための環境整備
希望する教員が部活動を継続できる形
教員以外でも顧問となることができる部活動指導員の適切な配置

③合同練習・合同活動の推進
より多くの仲間や指導者と活動することができ、教員の負担軽減につながる形

④柔軟な部活動形態の導入
地域や学校の実情に合った「隣接中学校型」や「拠点校型」の合同部活動

2. 新たな部活動の在り方に関する方針

7つの項目について

⑤部活動における公共施設利用の促進
多様な部活動、柔軟な部活動形態に対応するために、小学校を含む市の施設を可能な範囲で、部活動が活用をする

⑥細やかで丁寧な対応を基本とした部活動改革
部活動としての課題やニーズは様々なため、個々の部活動に寄り添った丁寧な対応
生徒や保護者への丁寧な説明

⑦管理運営組織の段階的立ち上げ
市全体の部活動の設置状況の管理、部活動指導員等の配置や管理・研修、活動計画・活動場所の調整や周知、係る予算管理等の機能を果たす事務局

すべてのこどもたちにとって、
さらに充実した活動ができる環境を

～学校・家庭・地域の連携～

「第4期えびなっこしあわせプラン」の 策定について

「えびなっこしあわせプラン」とは・・・

海老名のこどもたちひとりひとりが、
今と将来にわたって、自己実現を果たし、
社会の一員として自分の力を発揮して、
「しあわせ」に生きることをめざして、
家庭・地域・学校・行政が力を合わせて
取り組む教育計画です。

「えびなっこしあわせプラン」の歩み

第1期の取組から、次の3点を重点として取り組みました。

- ①授業改善
- ②新たな教育課程の編成
- ③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進

第1期
(H26～29 年度)

第2期
(H30～R2 年度)

第3期
(R3～R5 年度)

第4期
(R6～R8 年度)

6点の重点項目に取り組みました。

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成
- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

キーワードは、『多様性』。

第1期、第2期の取組を継続し、次の3点を重点に取り組みました。

- ①授業改善の実践
- ②教育支援体制の充実
- ③特色ある学校づくりの推進

第4期

『えびなっこしあわせプラン』

海老名市教育委員会 教育ビジョン

令和6年度から令和8年度までの
3年間の取組となります。

「第4期えびなっこしあわせプラン」では、

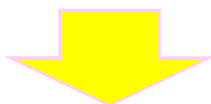
- ◇授業改善の実践
- ◇教育支援体制の充実
- ◇みんなで取り組む学校づくりの推進

を3本の柱として、重点的に取り組みます。

そして、「**包摂性**」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のすべての子どもひとりひとりの学びと生活を保障します。

包摂性・・・英語ではインクルージョン。包み込んで取り込むこと。
異なる意見や立場、文化や価値観などを受け入れ、調和を図ること。

令和5年4月策定の
『海老名市教育大綱』に示された・・・



『誰ひとり取り残さない教育』の
実現をめざします。

◇授業改善の実践

【授業改善実践推進委員会】

①『主体的・対話的で深い学び』を追求します

「よりよい授業づくり〈学校訪問〉・〈公開授業研究〉」の実施



「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組
みます

②教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります

◇教育支援体制の充実

【教育支援体制づくり検討委員会】

①「えびなっこ支援シート」の活用及び支援の充実

学びの保障のために、「支援計画」を作成し、生活・学習支援を実施します

②学校の包摂性を高めるための支援環境の整備と支援活動の充実

人員の確保とスペースの整備

支援学校、教育関連機関、民間団体等との連携推進

◇みんなで取り組む学校づくりの推進

【みんなで取り組む学校づくり推進委員会】

①各校の「みんなで取り組む学校づくり」の実践

こども、教職員、保護者、地域、市民と連携・協働した学校運営

②コミュニティ・スクールの推進

学校運営協議会の充実

③学校予算の主体的な執行のための見直し・改善

学校予算の運用における協議・研究・改善

えびなっこしあわせプラン推進委員会

第4期『えびなっこしあわせプラン』全体の検討・協議を実施します。

《 構成メンバー 》

校長代表2名 総括教諭・教諭4名 保護者代表1名

《 スーパーバイザー 》

小林 宏己 先生 ※第1期から助言を頂いています

その他、今日的な課題の対応へ

『海老名市立学校における保護者負担経費のあり方検討委員会』、

『外国語教育推進協議会』、『学校 ICT 活用推進委員会』、

『架け橋プログラム推進委員会』、『部活動推進協議会』、

『海老名市フルインクルーシブ教育推進委員会』を設置。

第4期えびなっこしあわせプランは

『包摂性』をキーワードに

『誰ひとり取り残さない教育』の

実現をめざします。

令和6年度 教育委員会予算について

令和6年度教育委員会予算の概要

歳 出

市全体の予算（一般会計）508億9,100万円

教育委員会の予算 **44億4,700万円**

保護者負担経費軽減

- ・教材費の無償化 1億4,979万円
- ・スクールライフサポート 9,171万円
- ・小中学校給食食材費(物価高騰分) 3,830万円 など

総額約4億2,000万円

県内初！

学校教材を無償化

小学校 **1** 年生から **6** 年生まで

中学校 **1** 年生から **3** 年生まで

約 **1** 億 **5** 千万円

全児童・全生徒の教材費を **市** が **負担** ！

保護者の負担を軽減します。



令和6年4月から

中学校の完全給食を開始



給食のイメージ



海老名市食の創造館別館イメージ

小学校・中学校給食の
物価高騰分は

1食あたり **20** 円 / 総額 約 **3,800** 万円

市 が **負担** ！

保護者の負担を軽減します。

